

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月12日

上場取引所 大

上場会社名 大東港運株式会社

コード番号 9367 URL <http://www.daito-koun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 曾根 好貞

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 荻野 哲司

TEL 03-5476-9701

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,451	11.6	110	△31.6	111	△30.5	56	△15.5
23年3月期第1四半期	3,989	10.9	161	168.9	160	189.7	66	111.6

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 50百万円 (△6.3%) 23年3月期第1四半期 54百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	6.00	—
23年3月期第1四半期	7.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	9,195	3,126	34.0
23年3月期	9,261	3,141	33.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 3,126百万円 23年3月期 3,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,500	3.1	190	△42.9	180	△44.3	100	△34.0	10.65
通期	16,700	1.6	330	△34.9	310	△34.0	170	△26.1	18.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	9,389,000 株	23年3月期	9,389,000 株
24年3月期1Q	2,493 株	23年3月期	2,493 株
24年3月期1Q	9,386,507 株	23年3月期1Q	9,386,507 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

※当社は、平成23年8月12日に、四半期決算説明資料「第63期（平成24年3月期）第1四半期決算説明資料」を当社ホームページに掲載しております。

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年6月30日)におけるわが国経済は、本年3月11日に発生した東日本大震災の影響による全国的なサプライチェーンの建て直しの遅れや電力使用制限などの対応から企業の生産活動は著しく低下し、後半には持ち直しの動きが見られたものの総じて景気は低調に推移いたしました。一方海外事情においては、欧米の財政赤字問題、中東・北アフリカの政情の不安定から円高の進行や原油価格高騰の影響がありました。

かかる環境下、当第1四半期連結累計期間における物流業界におきましては、輸出は震災の影響により減少したものの後半はアジア、欧米向けともに低水準ながら上向きの動きが見られました。輸入に関しては欧米では横ばい、アジアでは持ち直しの動きが見られました。その中で食品は水産物がほぼ横ばい、畜産物は鶏肉を中心に増加し、果実・野菜等も総じて増加いたしました。

また、鋼材の国内物流取扱いにおいては自動車の減産等が響き、需要が低迷いたしました。

このような状況の中、当社グループは「『ありがとう』にありがとう。」のコーポレートフィロソフィの下で、第4次中期経営計画「お客さま信頼度ナンバーワンを目指して」の諸施策に着手するとともに積極的な受注活動を展開しました。当第1四半期連結累計期間における連結売上高は実質的な増収に加え、港湾施設使用料収入の売上が増加した為、前年同期間比11.6%増の44億51百万円となりました。一方、人件費増加および新業務基幹システムの減価償却費発生等により連結経常利益は前年同期間比30.5%減の1億11百万円、連結四半期純利益は前年同期間比15.5%減の56百万円となりました。

セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

## [港湾運送事業および港湾付帯事業]

港湾運送事業は、港湾施設使用料収入が増加したため、売上高は前年同期間比17.6%増の22億32百万円となりました。

陸上運送事業は、トラック運送料収入が増加したため、売上高は前年同期間比15.0%増の7億72百万円となりました。

倉庫業は、入出庫作業料収入が増加したため、売上高は前年同期間比11.1%増の7億55百万円となりました。

通関業は、輸入申告料収入が減少したため、売上高は前年同期間比6.3%減の6億6百万円となりました。

この結果、港湾運送事業および港湾付帯事業の売上高は前年同期間比12.1%増の43億67百万円となり、セグメント利益は前年同期間比1.6%増の3億3百万円となりました。

## [その他事業]

その他事業は、船舶代理店収入が減少したため、売上高は前年同期間比7.7%減の83百万円となったものの、不動産賃貸料収入の増加によりセグメント利益は前年同期間比18.3%増の8百万円となりました。

## セグメント別売上高

区分	前第1四半期連結累計期間 自平成22年4月1日 至平成22年6月30日		当第1四半期連結累計期間 自平成23年4月1日 至平成23年6月30日		前年同期間比	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
港湾運送事業及び 港湾付帯事業	3,897,972	97.7	4,367,993	98.1	470,020	12.1
港湾運送事業	1,897,812	47.6	2,232,718	50.1	334,906	17.6
陸上運送事業	671,656	16.8	772,466	17.4	100,810	15.0
倉庫業	680,489	17.1	755,922	17.0	75,432	11.1
通関業	648,014	16.2	606,886	13.6	△41,128	△6.3
その他事業						
その他事業	91,046	2.3	83,994	1.9	△7,051	△7.7
合計	3,989,019	100.0	4,451,988	100.0	462,969	11.6

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は9億1千5百万円となり、前連結会計年度に比べ6億6百万円減少いたしました。主な要因は現金及び預金が8億3百万円減少した一方、受取手形及び営業未収入金が4億5千8百万円、投資有価証券が1億1千7百万円、たな卸資産が9千4百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は6億6千8百万円となり、前連結会計年度に比べ5億1百万円減少いたしました。主な要因は支払手形及び営業未払金が1億3千6百万円、その他流動負債が1億4百万円それぞれ増加した一方、賞与引当金が1億4百万円、未払法人税等が1億6千6百万円減少したことによるものあります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は3億2千6百万円となり、前連結会計年度に比べ1億4百万円減少いたしました。主な要因はその他有価証券評価差額金が6百万円、利益剰余金が9百万円それぞれ減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では、第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきまして、平成23年5月19日に公表した数値に変更はございません。

今後の動向により業績予想の変更が必要な場合には、速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,001,527	1,198,227
受取手形及び営業未収入金	2,593,450	3,052,307
たな卸資産	185,597	279,974
前払費用	34,512	70,784
繰延税金資産	121,968	65,790
その他	323,379	423,025
貸倒引当金	△17,244	△20,901
流動資産合計	5,243,191	5,069,208
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	444,522	438,402
機械装置及び運搬具(純額)	7,191	5,761
土地	1,412,637	1,412,637
リース資産(純額)	75,400	70,378
その他(純額)	56,768	51,460
有形固定資産合計	1,996,520	1,978,639
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	386,691	504,081
破産更生債権等	167,955	167,683
繰延税金資産	360,736	367,640
その他	649,465	652,042
貸倒引当金	△163,365	△162,476
投資その他の資産合計	1,401,482	1,528,971
固定資産合計	4,018,248	4,126,118
資産合計	9,261,440	9,195,327

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,622,725	1,759,469
短期借入金	1,164,663	1,183,663
未払法人税等	173,470	6,595
賞与引当金	219,173	114,368
その他	392,799	497,209
流動負債合計	3,572,833	3,561,306
固定負債		
長期借入金	1,206,018	1,137,519
再評価に係る繰延税金負債	213,666	213,666
退職給付引当金	938,886	972,566
役員退職慰労引当金	1,590	1,661
長期末払金	92,990	92,990
その他	93,892	88,792
固定負債合計	2,547,044	2,507,195
負債合計	6,119,877	6,068,502
純資産の部		
株主資本		
資本金	856,050	856,050
資本剰余金	625,295	625,295
利益剰余金	1,656,562	1,647,171
自己株式	△909	△909
株主資本合計	3,136,997	3,127,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△811	△7,308
土地再評価差額金	3,885	3,885
為替換算調整勘定	1,490	2,642
その他の包括利益累計額合計	4,564	△780
純資産合計	3,141,562	3,126,825
負債純資産合計	9,261,440	9,195,327

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業収益	3,989,019	4,451,988
営業原価	3,077,119	3,515,444
営業総利益	911,900	936,543
販売費及び一般管理費	750,479	826,088
営業利益	161,420	110,455
営業外収益		
受取利息	2,133	1,629
受取配当金	2,936	3,696
受取保険金	183	111
受取地代家賃	1,016	1,121
負ののれん償却額	930	—
複合金融商品評価益	—	2,291
その他	3,956	3,950
営業外収益合計	11,157	12,800
営業外費用		
支払利息	11,471	10,642
その他	400	890
営業外費用合計	11,872	11,533
経常利益	160,705	111,722
特別利益		
固定資産売却益	—	214
貸倒引当金戻入額	365	—
特別利益合計	365	214
特別損失		
固定資産除却損	635	2
投資有価証券評価損	35,059	6,127
災害による損失	—	1,325
ゴルフ会員権評価損	1,100	1,400
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,720	—
特別損失合計	43,515	8,856
税金等調整前四半期純利益	117,555	103,081
法人税、住民税及び事業税	6,103	2,685
法人税等調整額	44,793	44,081
法人税等合計	50,897	46,766
少数株主損益調整前四半期純利益	66,658	56,314
四半期純利益	66,658	56,314



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	66,658	56,314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,684	△6,497
為替換算調整勘定	410	1,151
その他の包括利益合計	△12,273	△5,345
四半期包括利益	54,384	50,968
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	54,384	50,968
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	港湾運送事業及 び港湾付帯事業	その他事業	合 計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	3,897,972	91,046	3,989,019	—	3,989,019
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	11,460	11,460	△11,460	—
計	3,897,972	102,506	4,000,479	△11,460	3,989,019
セグメント利益	298,634	7,379	306,014	△144,594	161,420

(注) 1. セグメント利益の調整額△144,594千円には、セグメント間取引消去△11,460千円、各報告セグメントに配分できない全社費用133,134千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	港湾運送事業及 び港湾付帯事業	その他事業	合 計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	4,367,993	83,994	4,451,988	—	4,451,988
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	17,242	17,242	△17,242	—
計	4,367,993	101,237	4,469,230	△17,242	4,451,988
セグメント利益	303,353	8,729	312,082	△201,627	110,455

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用201,627千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。